

「岡大教職ナビ」では教職課程を履修しているすべての学生に役立つ情報を随時配信しています。ここでは配信した最新記事の一部を掲載しています。さらに詳しい情報や最新の情報はセンターホームページをご覧ください。

教員・講師等募集情報

- 山陽病院・臨床心理士
- 矢掛町保育士
- 京都学園中学高等学校 非常勤講師
- 追手門学院中・高等学校 常勤講師等
- 筑波大学久里浜特別支援学校 教員（幼稚部、小学部）
- 東京都教育委員会 学校見学バスツアー
- 愛光幼稚舎 幼稚園教諭
- 坂出第一高等学校 常勤講師（国語）
- 総社高等学校 非常勤講師（生物）

スクールボランティア募集情報

- 学校支援ボランティア依頼内容一覧（2013.11.20）（岡山市教育委員会生涯学習課）
- 【H26】附属小学校健康診断ボランティア（岡山大学教育学部附属小学校）
- 保健室ボランティア募集について（岡山市立吉備小学校）
- 学校支援ボランティア依頼内容一覧（2013.9.10）（岡山市教育委員会生涯学習課）
- 総社市学校支援ボランティア（総社市立昭和小学校）
- 倉敷市「居場所」ボランティア（倉敷市教育委員会生涯学習課）
- 学校支援ボランティア（岡山県立岡山支援学校）
- 総社市学校支援ボランティア（総社市立山手小学校）
- スクール応援団募集（瀬戸内市立牛窓中学校）
- 学習支援ボランティア（瀬戸内市教育委員会）
- 【急募】学校支援ボランティア（岡山市教育委員会生涯学習課）
- 保健室ボランティア（岡山市立西小学校）
- 赤磐市教育委員会学習支援ボランティア（赤磐市教育委員会学校教育課）
- 学習支援ボランティア（岡山県教育庁指導課）

＜教員採用試験受験記＞平成26年度 岡山県 小学校

合格

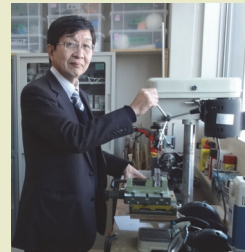
教育学部 小学校教育コース 教育心理学専修 青野 友未 さん

私が教採の勉強中1番感じたのは、一緒に頑張ってくれる仲間の大切さです。筆記試験は一人で勉強するイメージがあると思いますが、友だちと教え合ったり、「どんな教師になりたいか」を話し合ったりすることで、私は本番までモチベーションを維持して取り組むことができました。また、集団討論や模擬授業では、仲間と一緒に練習するなかで、いろんな考え方をする人の意見を聞く機会に恵まれました。そのおかげで、自分が面接で話せる内容の幅が広がったり、自分の長所をのびして短所を直したりすることができたと思います。なにより、本番までの長い期間、卒論やインターン・アルバイトなどと並行して勉強し続ける力を、頑張っている仲間の姿からもらいました。苦しい時もありましたが、新しい友だちもたくさんできた、充実した時でもありました。皆さんも、仲間と協力して頑張ってください！

教員リレー・エッセイ「物づくりは人づくりかな」

理数系教員養成事業部門 荒尾 真一 教授(特任)

私は、物を作ることが好きですが、今考えると祖父に意図的に刷り込まれたのではと思います。引退した祖父が工房で大工仕事している脇で、邪魔をする幼い私をさりげなく遊ばせてくれたような記憶があります。それが理科の教員になって大いに役に立つとは思ってもよかったです。きっかけは、興味深い授業をすることのできない自分がいて、何とかならないかと工夫したものを持っていくと、生徒は「先生、なんじゃーこれ。」と稚拙な作品をけなしながら目は輝いている。しかも大切に扱ってくれる。これにはまって、今までずっと物を作り続けてこられたように思います。当初は設計図に忠実に作っていたのですが、なぜかうまくいかない。それを教えてくれたのは、作った物を使った生徒たちでした。自分の視点が物をつくることだけにあって、だれがどこでどのように使うのかまで考えが及んでいなかったのです。物作りをすることが私の考えや視野を自然に広げてくれたのです。これは、今の仕事の次のようなシーンで役に立ちました。長年使い込んだ暗幕が設置されている理科室で、光源を使う実験で、どのくらいの明るさの装置を作ったら実用になり、しかも隣の班の実験の妨げにならないかなど。さらに、物作りはいろいろな方とのつながりが持てることです。作った物を見た人の自分とは視点の違う指摘は実に興味深いものがあり、時にはその人の生きざまにふれることもあります。その瞬間がなんとも心地よいです。話をしているうちに私の技術を見抜いて、的確なアドバイスをくださいます。まさにその道のプロというすごさを実感することが出来ます。現在は、学生の皆さんや現場の理科の先生方の厳しい要求に何とか応えようと失敗をくりかえしながら教材作りに「ひや汗」を流しています。皆さんのソフトで厳しい要求をいただけるのは、技術がまだまだ発達段階であることを見ぬかれてしまっていると考え、日々楽しみながら技術を磨こうとしているところです。



「大学の資質向上に寄与する 大学と学校・教育委員会の協働」

表題は「高度な専門職業人の養成や専門教育機能の充実」を図るため、岡山大学が平成23～27年度取り組むプロジェクトであり、現在折り返し地点となりました。大学の教員養成教育を進化させるため、大学と学校・教育委員会が協働し、一層子どもの実態や学校教育実践に基づいた教員養成教育に改善し、採用後に学校教育改善の担い手となる教員養成を行っています。

プロジェクトでは主として、①「オンデマンド研修」協働事業を通じた教員養成教育の改善と、②教員養成教育における附属学校園等と連携した「教科構成学」教授法開発事業の実施を行っており、今回はこの2つの取組についてご紹介します。



オンデマンド研修事業

大学と学校・教育委員会が協働し、次の2つの事業に取り組んでいます。

①教職実践インターンシップの試行と調査

4年次生が、学校で継続的にインターンシップ的な実習に取り組む「教職実践インターンシップ」の実施・充実のために、平成23・24年度には岡山・倉敷で試行をし、今年度からの実施に必要なデータを提供してきました。今年度から正式に実施されるようになり、プロジェクトでは充実に向けた学校・学生を対象にしたアンケート調査に取り組んでいます。

②オンデマンド研修の実施・調整

インターンシップ実施校の研究・研修に教育学部教員・学生が参画するオンデマンド研修にも取り組んでいます。学校の要望に応じて、授業改善や特別支援教育、QUを活用した学級経営に関する研修などを実施しています。教育委員会の要望を受けて、ESD（岡山市）や講師向け研修会（倉敷市）等にも取り組んでいます。

これらの取り組みにより、学生は公立学校実習を通じた実践力、学校・教育委員会はオンデマンド研修による教育力、大学教員は学校指導力を、統合して向上させることを目指しているのです。

【文責：住野好久】

教科構成学開発事業

本事業では教育学部の教員養成において教科専門（内容）と教科教育（指導法）を架橋する（つなぐ）領域を新たに構築することを目指しています。子どもの発達段階や学習状況に応じて教科の内容を構成し、授業を行うプロセスを総合的に教えることが重要だと考えています。平成23年度に、大学教員向けの「『教科内容構成』指導法ハンドブック」（https://cted.okayama-u.ac.jp/jorbhivaw-117/#_117よりダウンロード可）を作成しました。また、教科内容構成を検討・学習する上で必要となる教材として、附属学校園での教員と教育実習生による授業ビデオをオンラインで視聴できるシステムを構築しています。

25年度には、教育学部における教科に関する全て（多く）の授業科目において教科内容構成を指導することが重要であるとの認識から、現在、教育学部の学生向けに「教科内容構成指導教科書」を作成しています。4年間の各授業科目においてどのような教科内容構成指導の視点が含まれているのかを例示することによって、教科の目標→内容→教材化→授業化のプロセスを意識した授業実践ができる力量の育成につながればと考えています。

【文責：高塚成信】

今号の主な記事

【特集】教員の資質向上に寄与する「大学と学校・教育委員会の協働」

【報告】第5回教師力養成講座 報告

【報告】第6回教師力養成講座 報告

【報告】第7回教師力養成講座 報告

【報告】CSTシンポジウム（高知）へ参加

【報告】全学教職実践演習報告

【案内】岡山県「教師への道」インターンシップ事業シンポジウム・岡山市学校支援ボランティア学生シンポジウム

【連載】＜教員リレーエッセイ＞

理数系教員養成事業部門 荒尾 真一 教授(特任)

【連載】教員採用試験のツボ その七「教採に向けての3つの準備」

【連載】教員採用試験受験記：青野 友未 さん(教育学部)

【掲示板】「岡大教職ナビ」最新情報

【掲示板】センターからのお知らせ

「先進的教員養成プロジェクト」 中間報告会・シンポジウム

教員の資質向上に寄与する『大学と学校・教育委員会の協働』の実現—学校教育改善との連動で教員養成教育を進化させる—

- 日時 平成26年3月7日(金) 13:30～16:45
- 場所 岡山大学教育学部 本館4階 401号室

教職員をはじめ、学生のみなさんのご参加も
お待ちしております！

岡山大学スクールボランティアフェア2014

～ボラ活！誰でもスタート、スクールキャリア～
学校園でボランティアがしたい！
そんな思いを持った人のためのイベントです。

日時：平成26年4月5日(土) 13:30～

場所：岡山大学創立五十周年記念館
詳細・申込はセンターHPへ！



※本事業は「岡山市学校支援ボランティア」の登録・更新のための研修会を含みます。岡山市内でのボランティア活動を考えている人は必ず参加してください。

平成25年度教師力養成講座【第5回・第6回・第7回】一挙ご報告

第5回教師力養成講座 「子どもにとって魅力ある学級」 をどう創るか ～現場からの問題提起～

第5回目の講座では、「学級づくり」を取り上げました。いじめや不登校など多くの課題は、その根が学級での人間関係に繋がっていることが少なくありません。子どもが充実感を感じ安心して過ごせる学級を創ることが、そうした課題を少なくしていく大切な方法の一つです。

講師には、赤磐市立山陽小学校指導教諭岸本勝義先生をお招きしました。先生は、「人は一人では生きられない。人によって生かされている。」ことを、子どもたちに学校で少しでも味わって欲しいという思いで、実践を進めておられます。「信頼関係」「学級の秩序」「子ども同士の生産的つながり」「チームという風土」という視点から、子どもが「この学級にいて、自分を高められる」と思えるような学級づくりを紹介してくださいました。また、教師に求められる力として、指導についてのイメージを明確に持つこと、伝えたことを教師の行動として具体的な姿で子どもに見せること、叱責の判断と行動などを教えてくださいました。

教師の明確な方針、一人一人を大切にしたいいけない指導、子ども同士をつなぐ教師自身の言動の大切さなどが、参加者の心に強く残ったようです。

【文責：武藤幹夫】



第6回教師力養成講座 「子どもにとって魅力ある授業」 をどう創るか ～現場からの問題提起～

第6回目の講座では、「授業づくり」を取り上げました。学校において行われる活動の中で一番多くの時間を費やしているのが、授業です。子どもにとって魅力のある授業を積み重ねることは、学級づくりの基礎となることでもあります。

講師には、岡山大学教育学部附属小学校小野桂先生をお招きしました。今回は、参加者と一緒に考えたいという先生の希望で、個人で考えをまとめる時間や参加者の話し合いの時間を組み込みながら講話を進める形をとりました。

楽しい授業を通して、学級経営ができる。楽しい授業をするためには、まず教師が学習材のもつ構造を理解し、その魅力を感じることが必要である。その上で、子どもの主体的な活動と学習材の魅力とをつなぐ道筋を考えることが、授業づくりである。小野先生のこの考えに沿って、算数や国語の具体的な学習材を分析し意見交換をしながら、講座が進められました。

教師が学習材としっかりと向き合うこと、具体的な授業づくりの過程を体験できたこと、よい授業が学級経営の基本となることなどが、参加者の心に残ったようです。「学校現場で自分も取り組んでみたい」という感想も多く書かれていました。

【文責：武藤幹夫】



第7回教師力養成講座 「子どもの問題行動」 どのように対処したらよいか ～現場からの問題提起～

第7回目の講座では、「子どもの問題行動」を取り上げました。講師には、第4回にもお世話になった岡山市教育委員会指導課学校問題相談窓口担当の服部道明先生をお招きしました。

「生徒指導」＝「叱る」というイメージをもちやすいのですが、生徒指導は児童生徒の自己指導力の育成を目指す教育です。本来の積極的な意義を踏まえた生徒指導の充実が求められていることに関わって、いじめ、不登校、暴力行為の現状と背景についての基調提案がありました。

その提案を受けて、暴力行為に関わる4つの事例をもとに、その背景、対応、減らすための取組について、受講者でグループ討議を行いました。グループの発表の後、服部先生が、事実確認、原因や背景の考察、子どもに元気が出る指導の工夫、関係機関との連携などについてまとめてくださいました。

「先生にしかできないこと」「先生だからできること」があります。教師があきらめてはいけません。」という言葉が強く心に残りました。 【文責：武藤幹夫】

教育相談室で、これまでの教師力養成講座の記録DVDを見ることが出来ます。積極的に活用してください。



CSTシンポジウムへ参加



平成25年12月26日に高知市で「高知CSTプログラム理科教育シンポジウム」が開催されました。高知をはじめ、愛知、大阪、神奈川、福井など各地で実施されているCST養成プログラムの現状についての報告と、CSTの研究発表が行われました。岡山県からは、年末にもかかわらず養成プログラムにかかわる多くの学生及び現職教員が参加し、「岡山CST養成プログラムの概要と特色」と題して、口頭発表「理科教育を推進するCSTの養成を目指して」、ポスター発表「理科教育を推進するCSTを目指して」（現職教員）「魅力ある授業を展開できるCSTを目指して」（学生）の3つの発表を行いました。他県での発表とあって、最初は緊張が見られた参加者でしたが、県外のCSTとの情報交換も十分に行え、参加者からはCSTとしての位置付けや役割が再確認でき、大変よかったとの感想をいただきました。また、高知大学学長をはじめ、CST担当者からは、養成プログラムに参加する学生や現職教員の意識の高さについて、高い評価を受けました。年末の忙しい時期でしたが、CSTとしての今後を見つめる大変充実した一日になりました。【文責：山崎光洋】

全学教職実践演習報告



平成25年度全学教職課程履修者対象の教職実践演習最終回が先日1月8日に終わりました。文・法・経・理・工・環・農・MP・科目等履修合わせて96名が参加し、無事終了いたしました。2コマ続き・毎回ほぼ違うメンバーで行う演習中心の授業・全員で38名の各学部の先生が加わった授業などの新しい試みでしたが、受講生の皆さんは大変熱心に取り組み、1年次から始まった全学教職課程の最終段階にふさわしい授業となりました。

最終回の第8回は、全学教職課程を終了した受講生の皆さんに向けて、山根教師教育開発センター副センター長より「はなむけの言葉」がありました。授業後の皆さんの感想に『いろいろ学んだ教職課程だったが、これで終わると思うとなんだか寂しい。』といった内容が数名書かれていました。岡山大学で教員免許を取得したことを誇りに思う受講生の皆さんであってほしいと授業者一同願っております。

最後に一言。第1～8回までに授業に遅刻した人が40名程度いました。遅刻が許される職業はありません。学部卒業を前にしてどこか甘さがないか、今一度自分自身を顧みてください。 【文責：樫田健志】

教師への道インターンシップ・岡山市学校支援ボランティア シンポジウム開催案内

岡山県教育委員会主催の「教師への道」インターンシップシンポジウムが、来る3月15日（土）9時から教育学部講義棟5202教室で開催されます。このシンポジウムは、「教師への道」研修の第7日目の研修を兼ねており、1年間の研修や学校現場におけるボランティア活動等の総まとめを行います。主な内容として、学生による実践報告、講演、指導助言などがあります。参加申し込みは不要です。あなたの参加を待っています。 【文責：江木英二】

また、「岡山市学校支援ボランティア学生シンポジウム」が2月22日（土）9時45分から教育学部講義棟5202教室で開催されます。学校支援ボランティア体験の実践発表の後、グループ意見交換を行い、その意義・在り方などを考えます。学校園の役に立っているという充実感を味わうことが出来ると共に、現場の空気や実態に触れ実践力を高めることの出来る学校支援ボランティアにチャレンジしてみましょう。4月には岡山市他の教育委員会等が参加し、ブースを設けてみなさんの疑問や要望に応え、ボランティアへのお誘いをして下さいます。積極的な参加を是非お待ちしております。 【文責：曾田佳代子】



教員採用試験のツボ

教員採用試験まで6ヶ月になりました。7月の試験当日に向けて3つの準備をしましょう。1つ目は、「筆記試験」の勉強です。どの自治体の試験も第一次試験には筆記試験が課されます。内容は、一般教養・教職教養・専門です。自分が受ける都道府県の出題傾向をつかみ、計画を立てて、毎日継続して勉強しましょう。「根気」と「粘り強さ」が大切です。2つ目は「学校

その七「教採に向けての3つの準備」

支援ボランティア」をすることです。机上の勉強だけでは教採は合格しません。公立学校の子どもの現状やそれに対して先生方が行っている指導の様子を知ることによって、教師としての意識や実践力を高めることができます。3つ目は、「小論文」を書くということです。小論文の練習をする目的は、単に小論文が上手に書けるようになるということだけではなく、教

採の多くの部分を占めるのが面接試験ですが、その面接試験で自信を持って答えることができるようになります。更に、こんな教師になりたいという「目指す教師像」や教採で最も重視される「教師としての自覚や使命感」を高めることができます。小論文の練習は、小論文対策や面接対策であると同時に、教師としての基盤を形成することにもつながるのです。【文責：小川潔】